

TOHOKU DX GATEWAY 2026

KDDI 防災マップボードについてのご紹介

KDDI株式会社

2026年10月

目次

1. KDDIの取り組み
2. 防災および災害対策を取り巻く環境・課題
3. 防災マップボードの紹介
4. 活用シーン
5. 実際の活用事例
6. ご利用実績/お客様の声

KDDIの取り組み ～災害発生時に人々を守る～

災害に備え”つなぐ”使命を果たしている
災害発生時に早期復旧できるように、日々準備を行っている



ネットワークの強靱化



訓練



エリア復旧



被災地支援



日本を取巻く防災の状況

近年、甚大な被害をもたらす大規模災害が相次ぎ、災害対策が社会課題に
2026年の「防災庁」の創設とともに「防災DX」が推し進められる

激甚化する災害

豪雨災害の危険を及ぼす大雨の頻度が大幅に増加
南海トラフや首都直下地震の切迫性も高まる ※1



※1:令和5年版 防災白書 | 特集1 第2章 第1節 自然災害の激甚化・頻発化等: 防災情報のページ - 内閣府

防災庁の設立

2026年度中に「防災庁」の創設をめざして準備中
役割の1つとして、「防災DXの推進」が掲げられている



【防災庁の役割(要旨)】

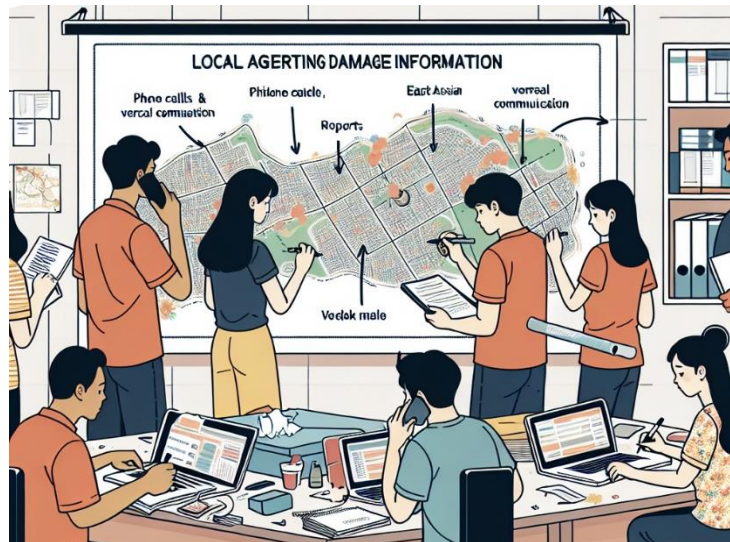
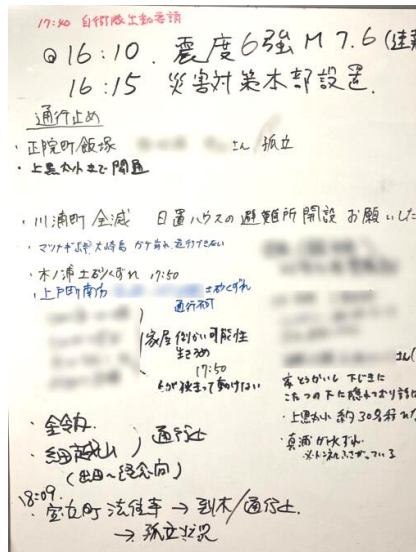
- ① 防災業務の企画立案機能の強化
- ② 災害対応の司令塔としての機能
- ③ 避難生活環境の整備
- ④ 官民連携体制の構築
- ⑤ 防災デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

災害時の課題（事例）

災害時の現場ではホワイトボードが有効活用されていた一方で
従来の紙や口頭の情報伝達は時間遅延、誤認、情報の錯綜などの課題も

過去の災害での事例

被害状況や避難者の情報、通行止め箇所などを
手書きのホワイトボードや白地図に集約



良かった点

- 停電や通信断により、デジタルツールが使えない状況でも情報集約することができる
- 日ごろ利用している事務用品をそのまま活用するため、新たな設備投資が不要

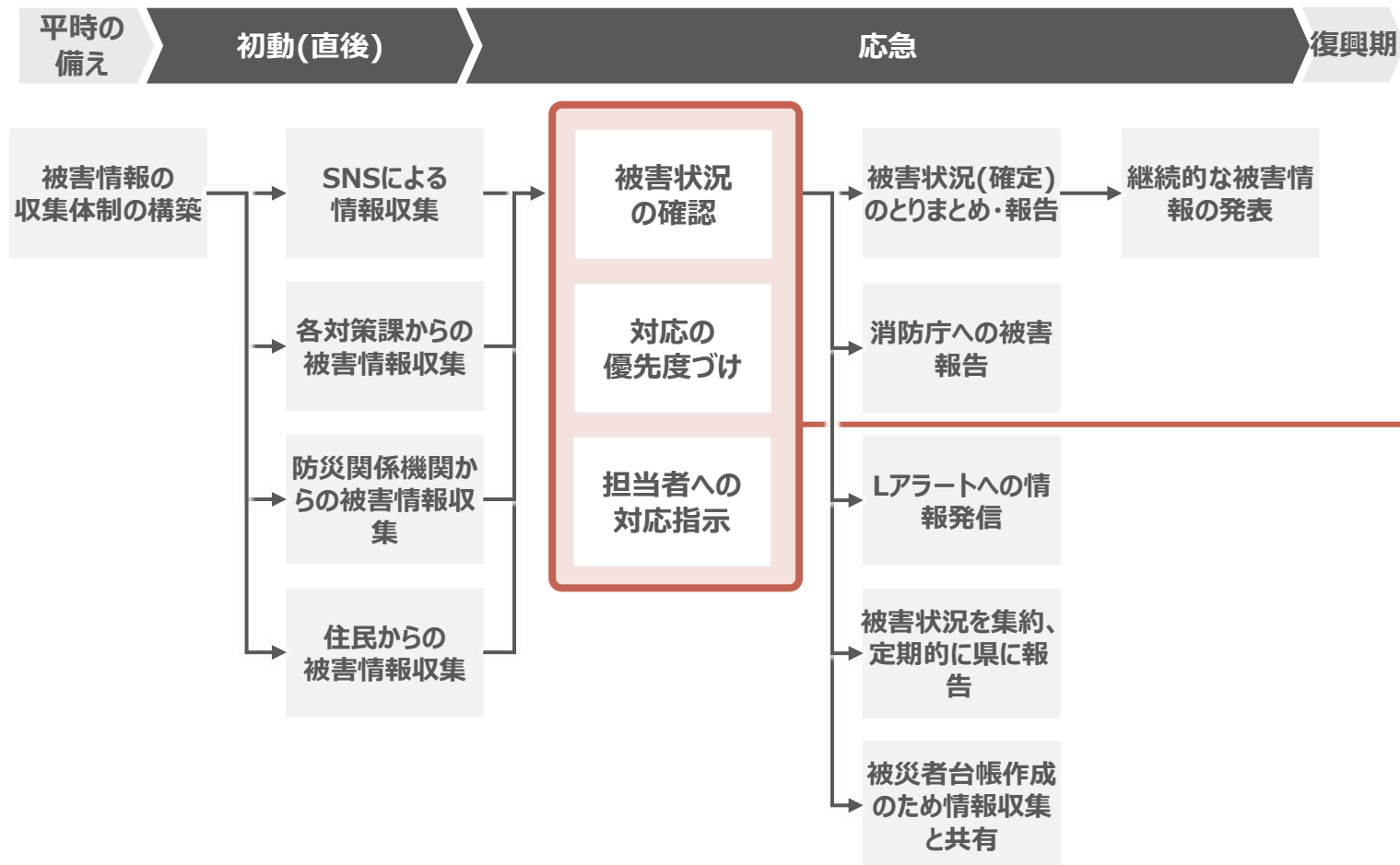
課題となった点

- 電話や口頭による情報を各担当がメモし、その内容を転記する必要があるため、作業が煩雑になりやすい
- ホワイトボードに集約されるまでに時間がかかったり、情報が錯綜してしまうことがある
- 自分で現場までホワイトボードを見に行くか、写真で送ってもらうなどしないと、最新の情報を確認することができない

【写真】「現地レポート・被災半島地図」「東証」株主会 役所のホワイトボードには「下敷きになった人の名前」がズラリ 「アナログ」転写されるも救助の一助に「NEWSポストセブン」- Part 7

災害時の課題(KDDI仮説)

「被害情報収集」では「大量の情報のやり取り」に付随する課題が多数存在
災害時の迅速かつ正確な情報共有の実現が被害軽減に寄与するのでは



収集する情報の種類

- ◆ **被災状況：**
庁舎内外の被害状況、避難所の状況、被災者の安否情報
- ◆ **応急対策情報：**
救助活動の進捗状況、医療支援必要性有無、物資の配布状況
- ◆ **指示/連絡事項：**
災害対策本部指示、緊急連絡先、避難指示etc.

主な課題

1. 情報収集中、**メモ**を取るのが煩雑
2. メモの**内容転記**(ホワイトボード、白地図等)が煩雑
3. 転記時の地図上の**場所の照合**が煩雑
4. WB、白地図を**見ないと**情報が分からない
5. **最新情報**が分からず、情報源も定かでない

防災マップボード サービス概要

防災マップボードは、災害状況をリアルタイムで集約・可視化し
一分一秒を争う災害時の意思決定の効率化をサポート

特長 1

災害関連情報を
一元的に可視化できる

迅速な状況認識の統一や
意思決定をサポート

特長 2

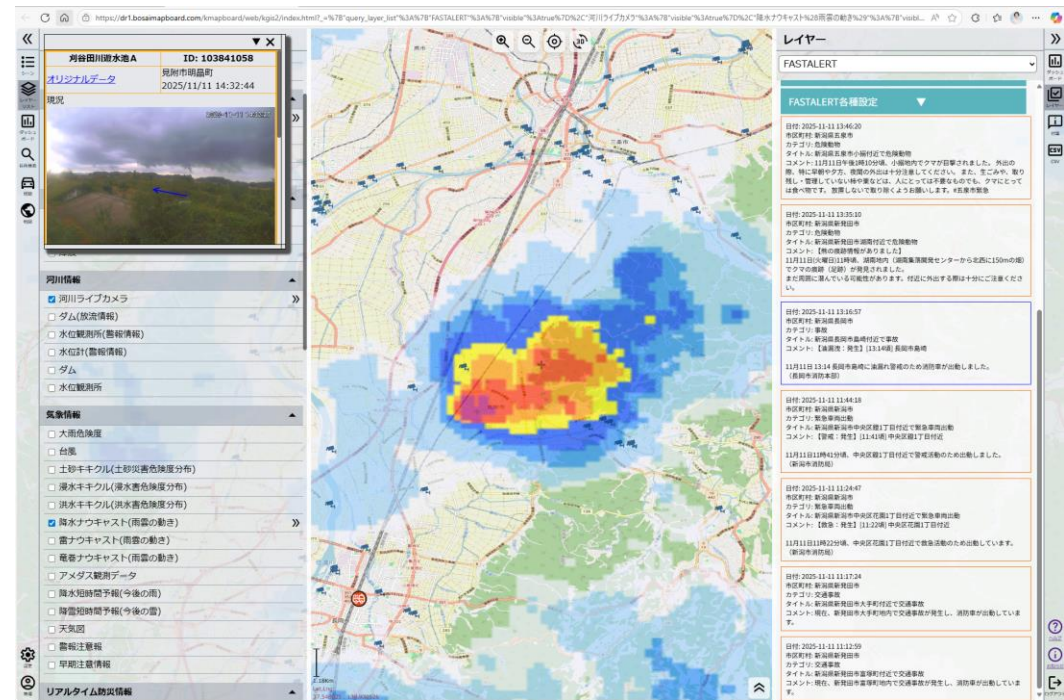
必要な機能に絞った
シンプルな設計

使いやすさと
低コストを両立

特長 3

災害時も安心
素早い動作性

通信逼迫時でも
活用できる可能性が高い



特長1: 災害関連情報を一元的に可視化できる

Web上のデータ、紙、ホワイトボード、電話、口頭などによる様々な情報を防災マップボード上に重ねることで、情報収集のDX化を実現

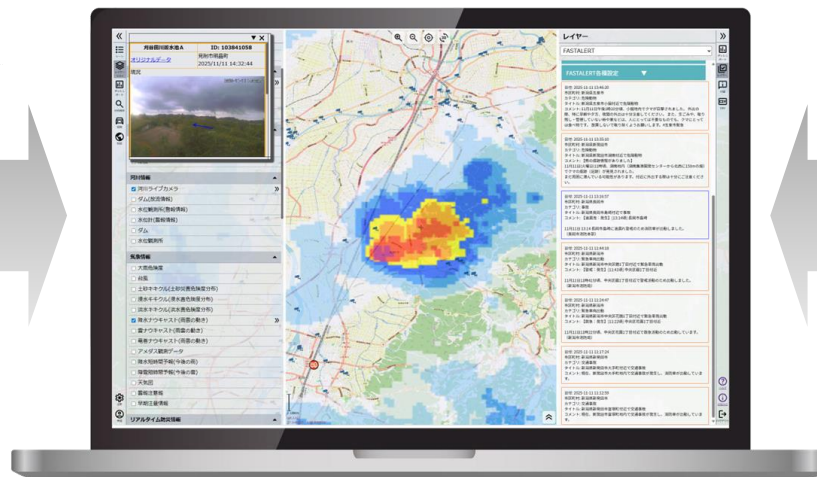
情報収集の一元化

公的機関が公開している情報をはじめとした、各種情報を収集。

- 地震津波情報
- 河川情報
- 気象情報
- リアルタイム防災情報
- 施設情報
- ハザードマップ



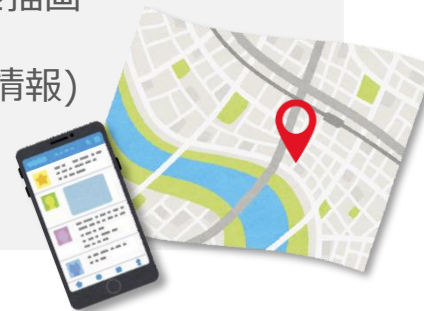
防災マップボード



被害状況や独自情報の可視化

自治体内で保有している各種情報の取り込みや、被害報告をサポートする各種機能を搭載。

- csvデータ取り込み
- 地図への図形/手書き描画
- 付箋機能
- FASTALERT (SNS情報)



特長2: 必要な機能に絞ったシンプルな設計

情報の収集および一元管理に必要な機能を厳選 機能をシンプルにすることで、低コストでのサービス提供を両立

レイヤー

気象情報をはじめ、50種類以上の情報を収集し防災マップボード上に表示することが可能。

付箋機能

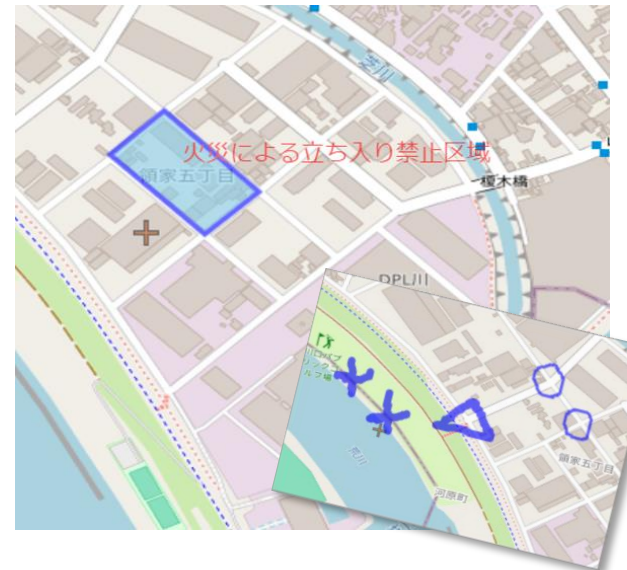
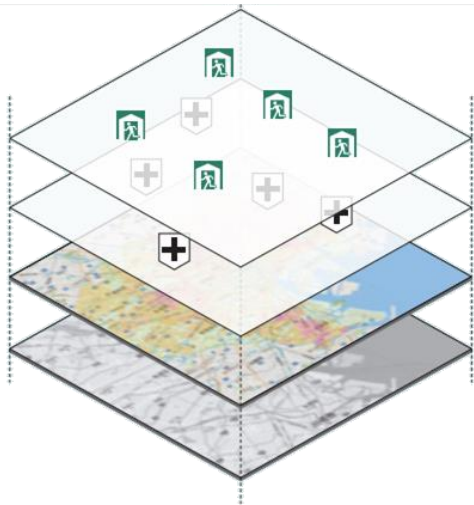
被害報告などを位置情報とともに地図上に記載できる機能。文字だけでなく、写真の添付も可能。

描画機能

点、線、図形で地図上の場所を指し示すことができる機能。手書きで直接図形を描くことも可能。

お客様データの地図表示

緯度経度や住所があるデータを、地図上に落とし込むことが可能。庁内で管理しているデータも可視化。

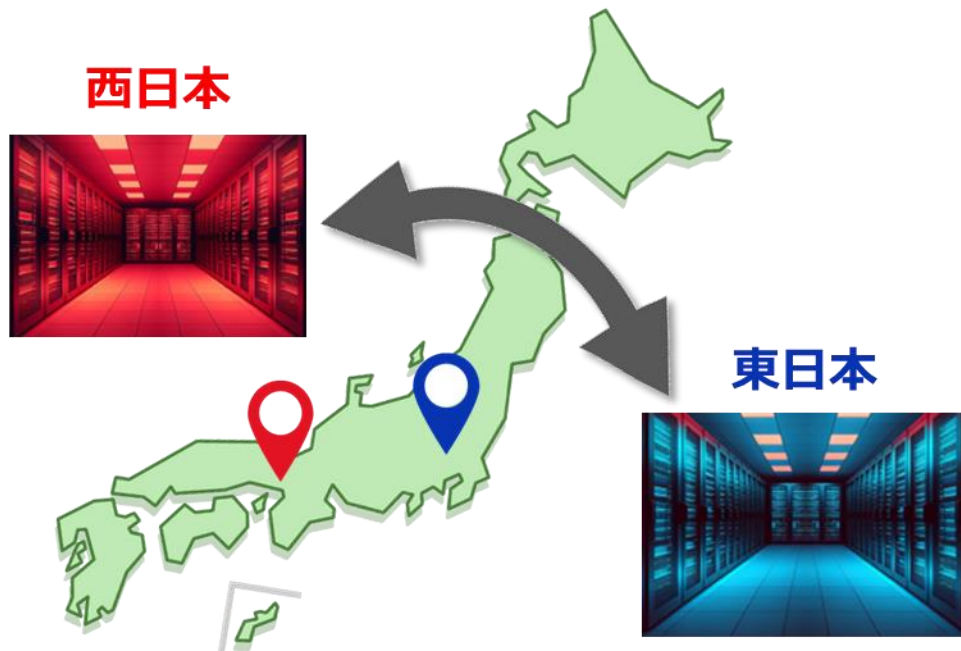


特長3: 災害時も安心、素早い動作性

冗長化されたサーバーによる可用性の高さと KDDIの特許技術を用いた動きの軽さで、災害時も安心

可用性が高い

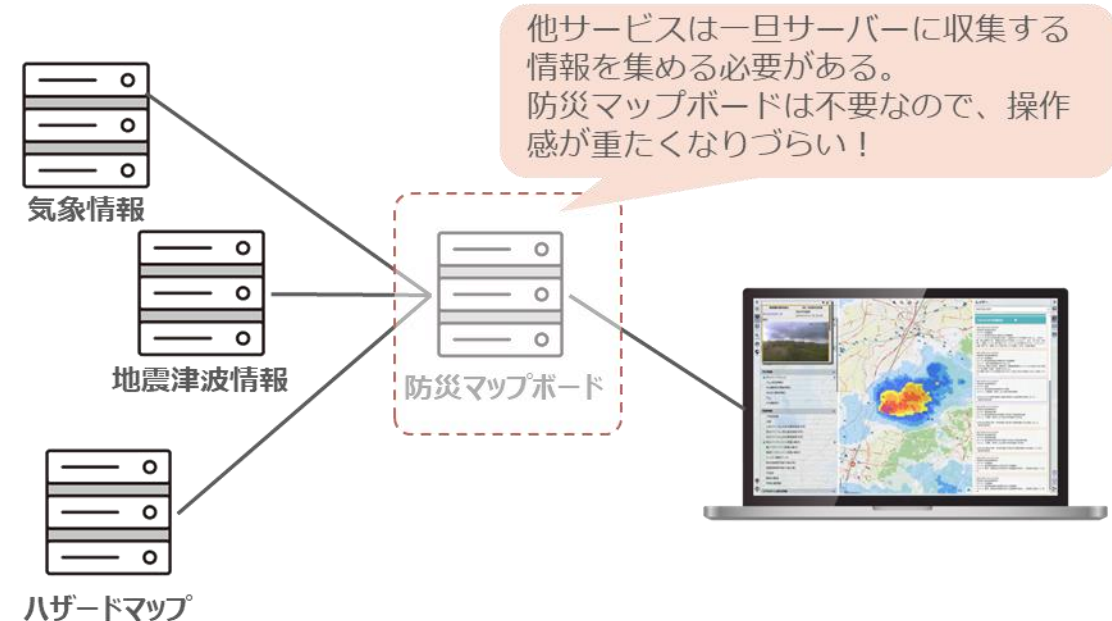
サーバーは東西2拠点で冗長化してあるため、万が一の場合にも安心



素早い動作性

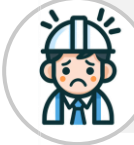
特許
技術

必要な情報を専用のサーバーに集約しないで済む
トラフィックが集中しないため、沢山情報を載せても動く



活用シーン1:大雨予報による災害の警戒

課題



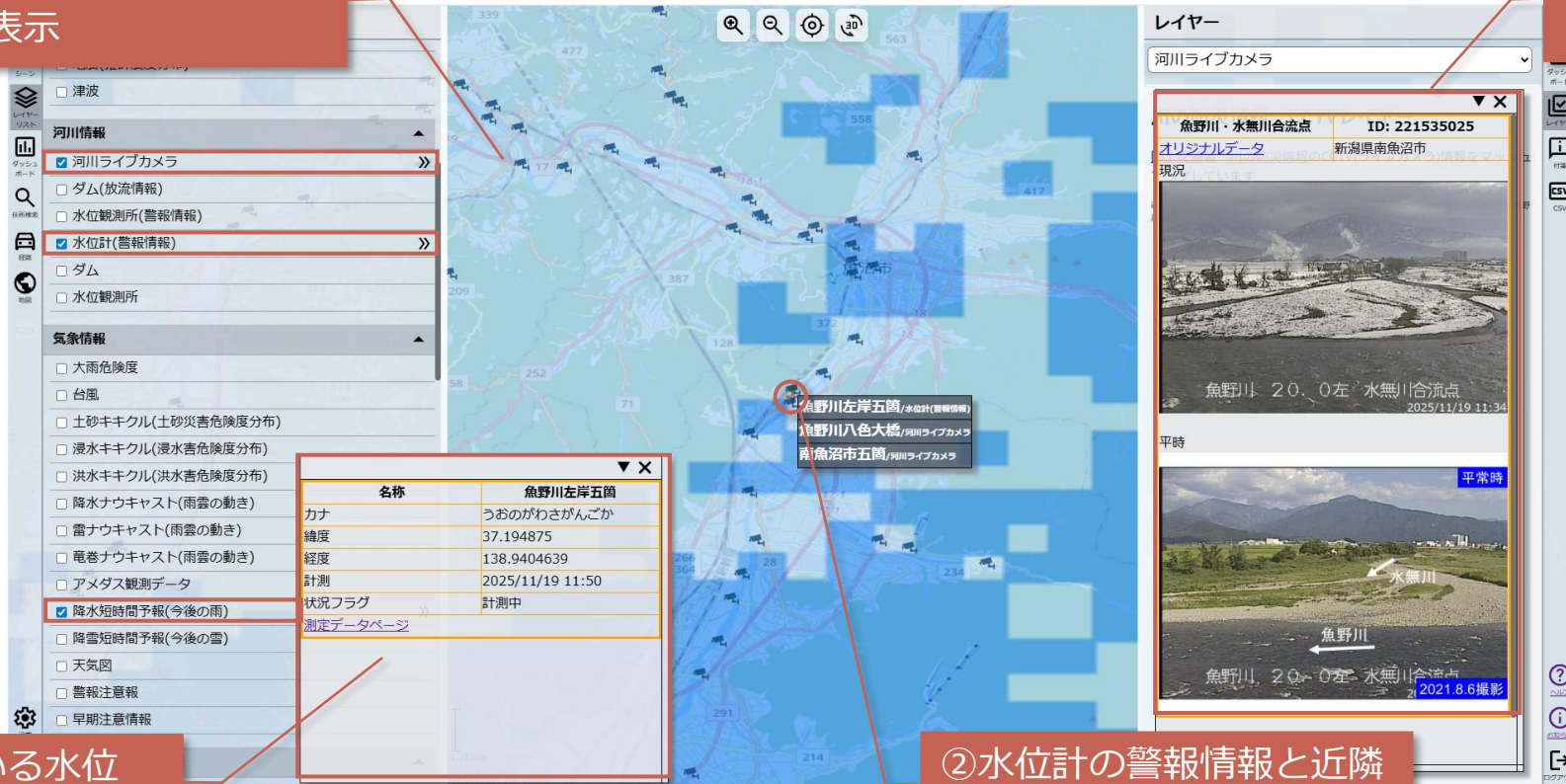
今日から明日にかけて大雨の予報。河川の増水が見込まれる場合、福祉課と協力し要支援者に対して早めの避難を呼びかけたい。

解決



気象庁の降水短時間予報で降水量予測を確認。水位計の警報と河川ライブカメラで増水度合いを確認し、迅速な判断に活かす。

①数時間後の降水量予測を表示



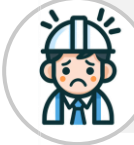
④近隣の河川カメラから増水の状況を確認

③警報が出ている水位観測所の確認

②水位計の警報情報と近隣のライブカメラを選択

活用シーン2:地震時の被害状況把握 (庁内で収集した情報)

課題



大きな地震があり、職員が被害状況把握のため巡回を実施。各職員から報告された被害状況をまとめたい。

解決



職員がそれぞれ防災マップボード上に被害を確認した場所と詳細を付箋機能で入力。データを見れば被害状況がわかる。

緯度経度:

住所:

タイトル
タイトルを入力して下さい。

被災状況

コメント:
コメントを入力してください。

付箋表示:
☒ 黄色 ☐ 赤色 ☐ 青色

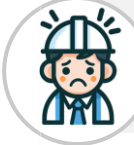
ファイルの選択 ファイルが選択されていません

①各職員が防災マップボード上で被害状況を入力



活用シーン3:地震時の被害状況把握 (SNS情報)

課題



大きな地震があり、道路が寸断。被害状況を確認したいが、職員は目の前の作業で手一杯で、すべての現場を回るには時間が足りない。

解決



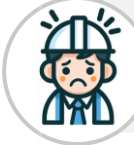
FASTALERTの情報を防災マップボード上で確認。SNSに投稿された現場の声や様子が位置情報とともにわかる。



※2024年1月1日～1月5日までの実際のFASTALERTのデータを用いて作成
※FASTALERTのご利用には別途オプションのお申し込みが必要

活用シーン4: 日々の野生動物による被害監視

課題



最近、熊の目撃情報が住民から寄せられる日が続いている。できるだけ早めに情報を把握し、防災無線を流したい。

解決



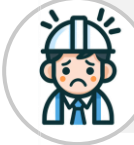
FASTALERTの「危険動物」の情報を定期的に確認。
住民からの通報より早く情報を得られることも。



※2025年11月1日～11月18日までの実際のFASTALERTのデータを用いて作成
※FASTALERTのご利用には別途オプションのお申し込みが必要

活用シーン5:土木課による道路の工事予定管理

課題



土木課の通常業務として、自治体内の道路の工事予定や工事中の情報を管理している。現在はエクセルで管理しており、確認しづらい。

解決



お客様データの地図表示機能で、エクセルのデータを地図上に視覚化できて、確認が快適にできるようになった。

■ 普段使っている管理表 (イメージ)

No	title	緯度	経度	住所	ステータス	工事開始日	工事終了日
1	AAXX7182	市道A_〇〇交差点付近	35.86137	139.649878	埼玉県さい工完了	2025/9/21	2025/10/1
2	AAXX7183	市道A_××交差点付近	35.884554	139.628736	埼玉県さい工完了	2025/9/28	2025/10/8
3	AAXX7184	市道A_△△交差点付近	35.866178	139.670434	埼玉県さい工予定	2025/12/15	2026/2/21
4	AAXX7185	市道A_□□交差点付近	35.83616	139.677352	埼玉県川口工予定	2025/12/22	2026/3/7
5	AAXX7186	市道B_〇〇交差点付近	35.845474	139.63284	埼玉県さい工予定	2025/12/29	2026/3/21
6	AAXX7187	市道B_××交差点付近	35.874151	139.624171	埼玉県さい工予定	2026/1/5	2026/4/4
7	AAXX7188	市道B_△△交差点付近	35.866617	139.63563	埼玉県さい工予定	2026/1/12	2026/4/18
8	AAXX7189	市道B_□□交差点付近	35.874637	139.668776	埼玉県さい工予定	2026/1/19	2026/5/2
9	AAXX7190	市道C_〇〇交差点付近	35.87841	139.639513	埼玉県さい工予定	2026/1/26	2026/5/16
10	AAXX7191	市道C_××交差点付近	35.887299	139.672966	埼玉県さい工予定	2026/2/2	2026/5/30
11	AAXX7192	市道C_△△交差点付近	35.892979	139.648461	埼玉県さい工予定	2026/2/9	2026/6/13
12	AAXX7193	市道C_□□交差点付近	35.851792	139.627819	埼玉県さい工予定	2026/2/16	2026/6/27

① 普段の管理表をCSV形式にして防災マップボードにインポート

② インポートしたデータを選択し地図上に表示

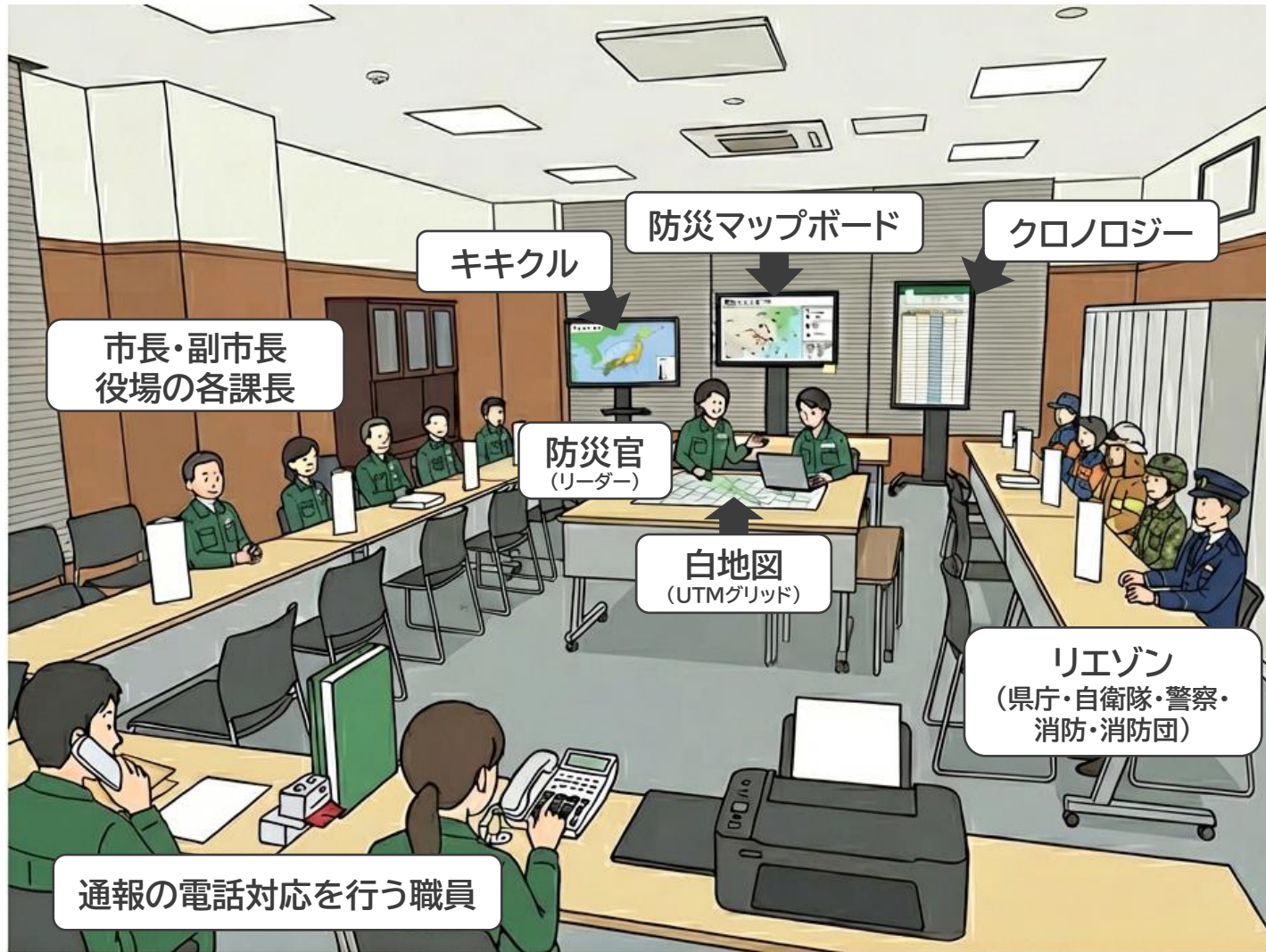
③ 地図上でデータを確認することが可能

④ 地図上のアイコンをクリックすると詳細も確認可能

Title	Value
No	AAXX7184
title	市道A_△△交差点付近
緯度	35.866178
経度	139.670434
住所	埼玉県さいたま市緑区原山1-30-12
ステータス	工予定
工事開始日	2025/12/15
工事終了日	2026/2/21

④ 地図上のアイコンをクリックすると詳細も確認可能

実際の活用事例：豪雨対策訓練での活用



訓練の内容

- ✓ 深夜から豪雨が発生し、今後被害が出そうな状況に…
災害対策本部を設置し、対象メンバーが参集
- ✓ 被害状況が通報・リエゾン・各課長を通じて本部報告される
- ★ここで防災マップボードを活用
- ✓ 防災官と防災担当の職員を中心に優先度をつけ、優先度の高いものから誰が何をするのかを本部内で決定
- ✓ 対応を担当することになった課の課長や、機関のリエゾンが配下の組織内で連携して対応指揮を執る
- ✓ 各課長や、機関のリエゾンは自分の管轄になった案件の状況を適宜組織内からヒアリングして報告
- ✓ 初期対応として”未対応案件を無くす”までの対応を実施

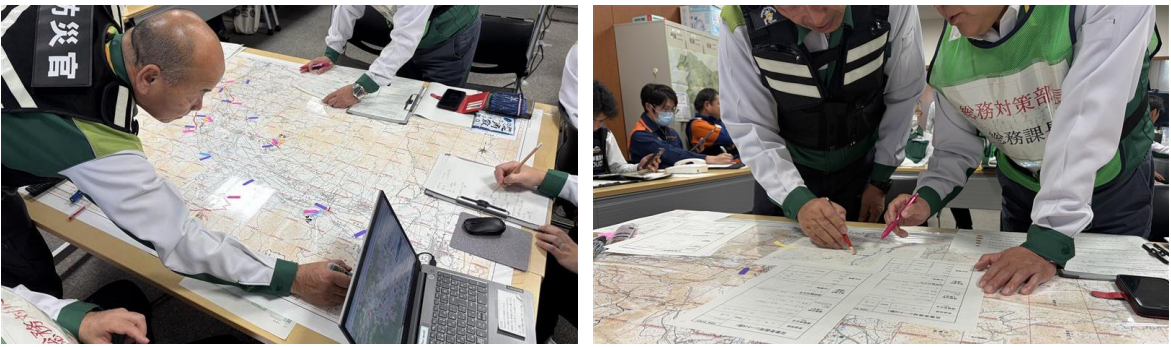
実際の活用事例：防災マップボードの使われ方

取り急ぎの優先度付けや進捗管理はクロノロジーと紙の白地図を活用
防災マップボードはその中で**本部全体に共有したい位置情報が必要な案件を登録**

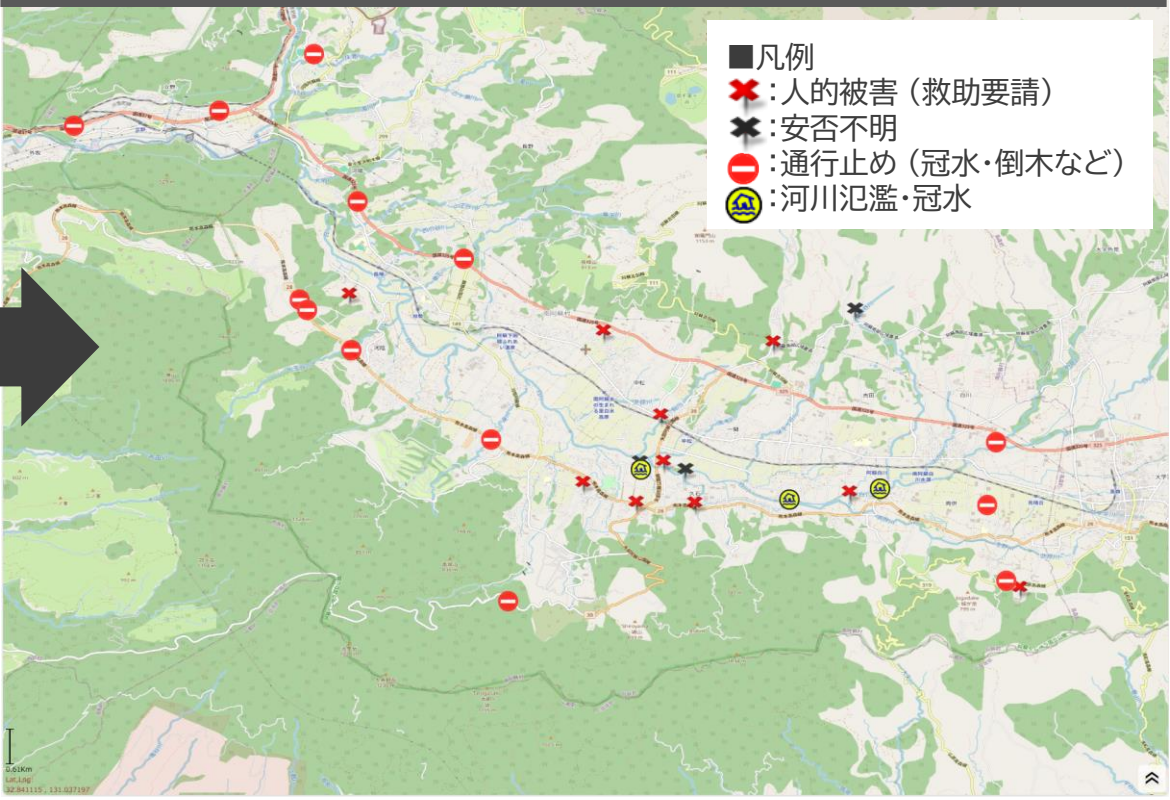
クロノロジー：全案件の詳細を記録

災害名：2026年2月豪雨対応訓練									
被害番号	入電時間	災害内容	優先順位 (トリアージ)	災害種別	対応部署	対応状況	対応時刻 (解決時刻)	被害状況・その他	
1	4:11	道路の冠水	A：緊急	その他	土木対策課	対応中		ドライバーからの通報で、県道28号線の駐在所西側付近（住所：〇〇）に水により水が溢れそうです。通行止めの可能性があるため早期に道路管理者を派遣してもらいたい。 ※立ち往生している車両は確認できない。	〇〇
2	4:12	道路の冠水	A：緊急	その他	警察	対応中		ドライバーからの通報で、両側1区入口から南側に少し入った所で（住所：〇〇）付近の水が溢れている。現在は車両通行可能であるが、速度を落として通行しているため渋滞になりつつある。次第に水かさが増しているため、今後通行できなくなる可能性あり。警察官が現場で交通規制中。	
3	4:15	道路の冠水	A：緊急	その他	土木対策課	対応中		地元住民からの通報で、谷間に向かう道路が冠水している。（住所：〇〇）現在は車両通行可能であるが、とんだ水が溢れており、今後通行できなくなる可能性あり。警察官が現場で交通規制中。早期に道路管理者を派遣してもらいたい。	
4	4:17	倒木による被害	A：緊急	人的被害	消防・警察 土木対策課	対応中		久石地区新村の住人ですが、県道28号線（住所：〇〇）付近で街路樹が倒れ走行中の車両1台が木の 下敷きになっている。早く救助してください。 ※ 警察には連絡した。消防には連絡していない。	
5	4:22	住民からの問合せ	D：その他	その他	住民課	解決済	4:25	地区の下田という者です。防災無線で避難指示が出ているが、こんな夜中に大雨の中、歩いて避難して大丈夫なのか。避難 所にとりまわりの川に流されたか心配。車で避難してもいいものか。 ※住所：〇〇	
6	4:45	安否不明者の情報	B：準緊急	捜索	警察	対応中		地区の住人ですが、4時間前に高野の父親が放牧牛を軽トラックで見に行ったまま帰ってきません。気になって1.2時間くらいに 探しているが、見つかりません。	

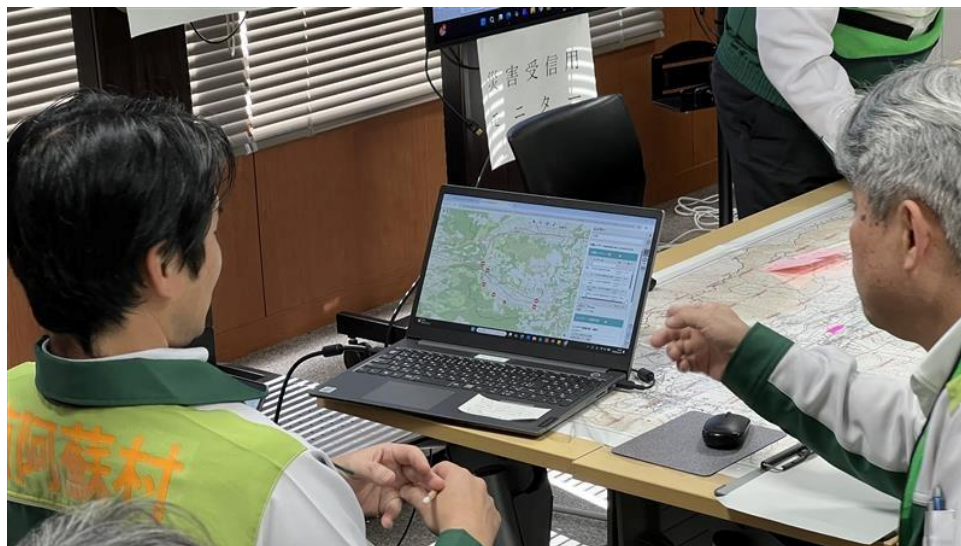
白地図：位置情報が大事な案件を記録 (感覚的には共有前の下書きや、作業用に近い印象)



防災MB：全体に位置共有したい案件を表示



実際の活用事例：現場の様子



実際の活用事例：当日ご参加いただいた方のご感想

位置情報を情報を**正しく・素早く・簡単に共有**できる点を 評価いただいております



その他: 連携予定サービス

多様なパートナー、KDDIグループアセットとのかけ合わせによる
サービスの拡大を予定

Starlink



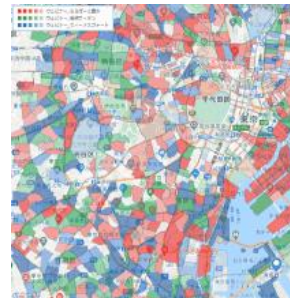
次世代通信
衛星サービス。
非常時の通信
手段として有効

ドローン



遠隔操作・
制御で、離れた
場所の災害
状況を把握

人流



GPS位置情報
データ解析で、
人流滞留等を
分析

避難所管理



避難所開設・
満空状況をワン
ストップに管理

...

ご利用実績/お客様の声

サービス開始以降、170以上の自治体さまにご利用をいただいております

お客様の声①

情報の視認性 ★★★★★☆

レイヤーをまとめて表示できるため、画面を切り替える必要がなくなり、情報を得るスピードは、格段に向上した。

情報の拡張性 ★★★★★☆

自治体で必要な情報をプロットできるのは、活用の幅が広がると感じた。

お客様の声②

操作性 ★★★★★☆

現在使用している他システムに比べ、読み込み速度が圧倒的に早く感じた。自動更新や複数のレイヤーを反映させた場合でも、ストレスを感じることはなかった。

情報の即時性 ★★★★★★

現在は複数のホームページから情報を収集しているため、確認作業の効率化が図れた。また、必要な情報の選択も容易であった。

お問い合わせ

防災マップボードに関するご提案内容やご質問につきましては
お気軽に、営業担当者もしくは下記メールアドレスにお問い合わせください

✉ bousai-mapboard@kddi.com

※土日祝日や年末年始の期間は、メールのお返事が難しい場合がございます。ご了承ください。

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

